

## ～FD・講演会 参加者の声（抜粋）を紹介します～

- ・女性活躍度が数値化されていて、現状がよくわかりました。
- ・DEIというレベルまで至っていないが、女性の活躍を願いたい。
- ・男女比率だけでなく、女性の活躍する環境を作製・整備をしておかなければならないことが理解できて大変良かった。
- ・教員・研究者の女性の数を単純に増員するだけではいけないというメッセージが伝わりました。ありがとうございました。
- ・他大学の指標等も交えてわかりやすくご説明いただき、大変勉強になりました。
- ・女性比率を増やす前に、環境の整備が重要とのお話が全くそのとおりだと感じました。今後、九大が成長していくには、多様性が重要かと思えます。
- ・みんなで頑張るといところが印象に残りました。
- ・多様性（男女数の比）と研究業績の関係を定量的に扱おうとする試みに感銘を受けました。女性の絶対数が増えるほど男女の平等が達成されていることが興味深かったです。
- ・今後の九州大学の方向性がみえたように思いました。
- ・活躍したいと思っている女性が正当に活躍できることが当たり前の中になるといいと思いました。
- ・現在議論しているダイバーシティは、極論ダイバーシティという概念を無くすことが重要かとも感じた。・大変興味深い、データに基づいた講演でした。理工系と一括りにしても、生命科学系と理学部、工学部でも世界的に男女比に差があるのは驚きでした。
- ・個人レベルではなく、組織レベルでの改革から女性が働ける環境になって欲しいと感じました。
- ・男女平等の指標を、学部別、大学別で、単に男女比率を比較するのではなく、業績および女性の絶対数を同一のグラフで3次元的に視覚化することで、現状をより詳しく正確にとらえようとしている点が興味深い。

## 令和7年度 九州大学馬出地区4部局合同男女共同参画FD・ 九州大学病院臨床教育研修センター きらめきプロジェクト講演会を開催

～きらめきプロジェクトでは、プロジェクトの活動の一つとして、毎年、講演会・学生交流会・スタッフ発表会などによる啓発と周知活動を行っています～

今年度講演会では、九州大学 副学長、  
先導物質化学研究所 主幹教授であり、  
九州大学男女共同参画推進室 副室長  
でいらっしゃる 玉田 薫先生を演者としてお招きし、九州大学馬出地区4部局合同男女共同参画FDと合同で開催しました。



令和7年度  
九州大学馬出地区4部局合同男女共同参画FD  
九州大学病院きらめきプロジェクト  
講演会

講演  
九州大学副学長・男女共同参画推進室副室長  
玉田 薫 先生  
テーマ「E1環境の形成と組織の健全な発展  
～国際調査結果から～」

日時 2025年9月29日(月)  
18:00～19:00

会場 九州大学病院キャンパス内  
アイン薬局九大南店  
2階大会議室

QRコード

お問い合わせ先  
九州大学男女共同参画推進室  
TEL: 092-642-5203 E-mail: kirameki@jimu.kyushu-u.ac.jp



九州大学病院 臨床教育研修センター  
きらめきプロジェクト  
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL・FAX : 092-642-5203

E-mail : kirameki@jimu.kyushu-u.ac.jp

URL : <https://www.kiramekipj.kyushu-u.ac.jp/>



# 令和7年度 九州大学馬出地区4部局合同男女共同参画FD・ 九州大学病院臨床教育研修センターきらめきプロジェクト講演会を開催

日時：令和7年9月29日（月） 18:00～19:00

会場：病院キャンパス アイソ薬局九大南店 2階大会議室

テーマ：「DEI環境の醸成と組織の健全な発展：国際調査結果から」



講師  
九州大学 副学長  
先導物質化学研究所 主幹教授  
男女共同参画推進室 副室長  
玉田 薫 先生

今回の講演では先生が携われた国際調査の結果を資料やグラフに示されていて、とてもわかりやすいお話となりました。

玉田先生は、年齢・国籍・文化・価値観などの個性が異なっていたとしても、違いを認め合い共存することが重要であるとおっしゃいました。もしもそれらの特性のために不公平があるとすれば、まずはその解決が先で、それから各々の個性を活かして活躍できる環境をつくることを目指すことが大切とのことでした。

講演の最後に「いつの時代も不完全ではあるけれども、今私たちが持っている情熱や繊細さで自分たちが目指す組織を自分たちの手で作りましょう」とのメッセージを送られました。

ご講演後の質疑応答では更に踏み込んだ議論が交わされ、深い理解を得ることができました。

当日は多くの皆様にご参加いただきました。誠にありがとうございました。



講演会の様子



挨拶  
九州大学  
生体防御医学研究所長  
大川 恭行 先生



挨拶  
九州大学病院  
臨床教育研修センター長  
新納 宏昭先生



講評・閉会挨拶  
きらめきプロジェクト  
顧問 榎木 晶子 先生



司会進行  
きらめきプロジェクト  
プログラム責任者  
加藤 聖子 先生



講演会の様子